



みどりの力でわんぱくを育てる！！

～こどもの森体験イベントを開催～

と き 5月31日(土)・6月1日(日) 午前10時～午後4時

と ころ 羽沢二丁目緑地予定地(羽沢2-32周辺:(仮称)こどもの森の開園予定地)

5月31日と1日の2日間、木や自然の素材を使って自発的に遊びを考え、楽しむ「こどもの森体験イベント」が開催され、近隣のこどもたちは木登りや穴掘りなど、自然を活かした冒険遊びを通じて、練馬のみどりを楽しんだ。

練馬区には、樹林地や農地などがまだ多く残っており、緑被率は23区で一位。このイベントは、こうした「みどりの資源」を活用してこどもたちのわんぱくを応援していこうという取り組みである。

1日はアウトドア雑誌『BE-PAL』がプロデュースしたイベントも行われ、『BE-PAL』流の自然体験やロープを使った遊び場づくり、練馬区産の野菜を使った料理教室を実施した。

親子で参加した保護者は「練馬区内で、こんなに自然と触れ合える体験ができるとは思わなかった。子どもにとってもいい経験になったと思います。」と話してくれた。また、こどもたちからは、「もやい結びが出来るようになった！ロープ遊びって楽しい！」と、イベントを満喫していた。

今回の様子は7月10日発売の雑誌『BE-PAL』に掲載される予定。



【ロープ遊びって楽しい！】



【料理教室の様子】

【当日の様子】

31日は、親子連れや近隣のこどもたちなど172人が参加。1日は約120人(正午時点)が訪れ、会場では自然のアトラクションを楽しむこどもたちの歓声が響き渡っていた。穴掘りや木登りなど、自然を使った遊びの幅を広げられる場所として、参加者たちに大好評だった。

1日限りのイベントとして、アウトドア雑誌『BE-PAL』が豊富なアウトドアの経験を活かし、「練馬区産野菜を使った料理教室」、「自分で作るロープ遊具」、「新緑の生き物探し」をプロデュース。

料理教室では、区内で収穫されたばかりのキュウリやジャガイモ、ソラマメなどを使って、「じゃがいものニョッキ」、「ドレッシングピクルス」、おき火を使った「野菜グリル」などを調理。参加者以外の来場者にもふるまわれた。料理を食べた人からは、「焼くだけでこんなにおいしいとは思わなかった。」「自分が住んでいるところの野菜をもっと食べたいと思う」と好評だった。

「自分で作るロープ遊具」では、ロープワークを学ぶことで、遊び道具を自分たちの手でつくることを体験し、こどもたちは自分たちで作ったロープで、実際に公園内にアスレチックを組んで遊んでいた。

【23区で緑被率第1位の練馬区ならではの取り組み】

23区で緑被率が最も高い練馬区には、風格ある屋敷林や農地がまだ多く残っており、昔ながらの風景を今に伝えている。今あるみどりを守り、増やすことは区の重要課題。練馬のみどりを継承し、将来にわたり保全していくために、練馬区ではこどもたちがみどりの中で冒険遊びができる「(仮称)こどもの森」を設置していく。平成27年春に開園する予定。

「こどもの森体験イベント」は今回が6回目。区はイベントを通して、区民ニーズの把握等に努めてきた。みどりの資源を活かし、子どもたちが自由に遊ぶことができる遊び場作りに自治体が取り組むことは、23区でも珍しい。

【問い合わせ】

環境まちづくり事業本部環境部みどり推進課みどり計画係 電話03-5984-1659